

第20回 はせさんず 講演会

平穩死のすすめ



— 延命措置ではないおだやかな死を迎えるために —

世界一の長寿国になった日本ですが、私たちはこれからも限りなく医療を求めていくのでしょうか。自分は延命を望まないのに、いざそのときになると、家族にはそれをしてしまう。老いは病ではなく、穏やかに生を終えるためのサインと受けとめれば、自分自身がゆっくりと死に向き合う準備の期間とも考えられます。高齢社会に必要なのは不老長寿の医療ではなく、より良きケアと看取りかもしれません。

芦花ホームで200人以上の方を看取られ、平穩死という自然な死に方を提唱している石飛幸三さんにお話をいただき、皆で考えてみたいと思います。

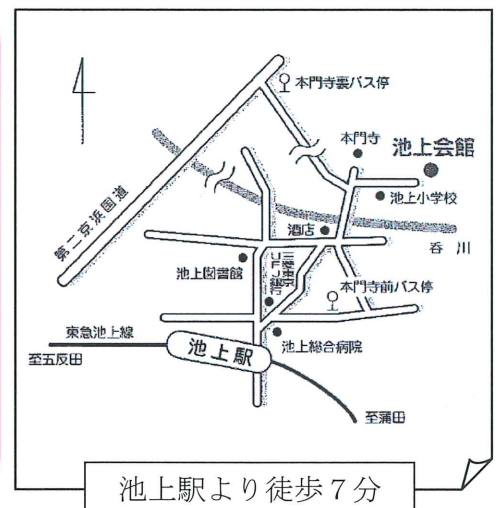


講師
石飛 幸三さん

講師プロフィール

特別養護老人ホーム・芦花ホーム常勤医。
1935年：広島県生まれ。慶應義塾大学医学部卒業。
1970年：ドイツのフェルディナント・ザウアーブルッフ記念病院で血管外科医として勤務。
1972年東京都済生会中央病院勤務
1993年東京都済生会中央病院副院長
2005年より現職。診療の傍ら、講演や執筆などを通して、老衰末期の看取りのあり方についての啓発に尽力している。
●主な著書：『平穩死』のすすめ 口から食べられなくなったらどうしますか』（講談社）、『平穩死』という選択』（幻冬舎ルネッサンス新書）などがある。

- ❖ 日時：平成29年3月12日(日)
10:00~12:00
- ❖ 会場：大田区池上会館 3階 視聴覚室
- ❖ 資料代：500円
- ❖ 定員：80名
- ❖ 主催：認定NPO法人
たすけあい大田はせさんず
大田区池上4-28-3 TEL:5747-2610



池上駅より徒歩7分

お申込: TEL または FAX でお願いいたします。(申込締切り日: 3月10日まで)
お申し込み内容は、本事業のご案内に利用させていただきます。

***** FAX 申込書 5747-2620 *****

お名前: _____ 連絡先 TEL: _____

ご住所: _____